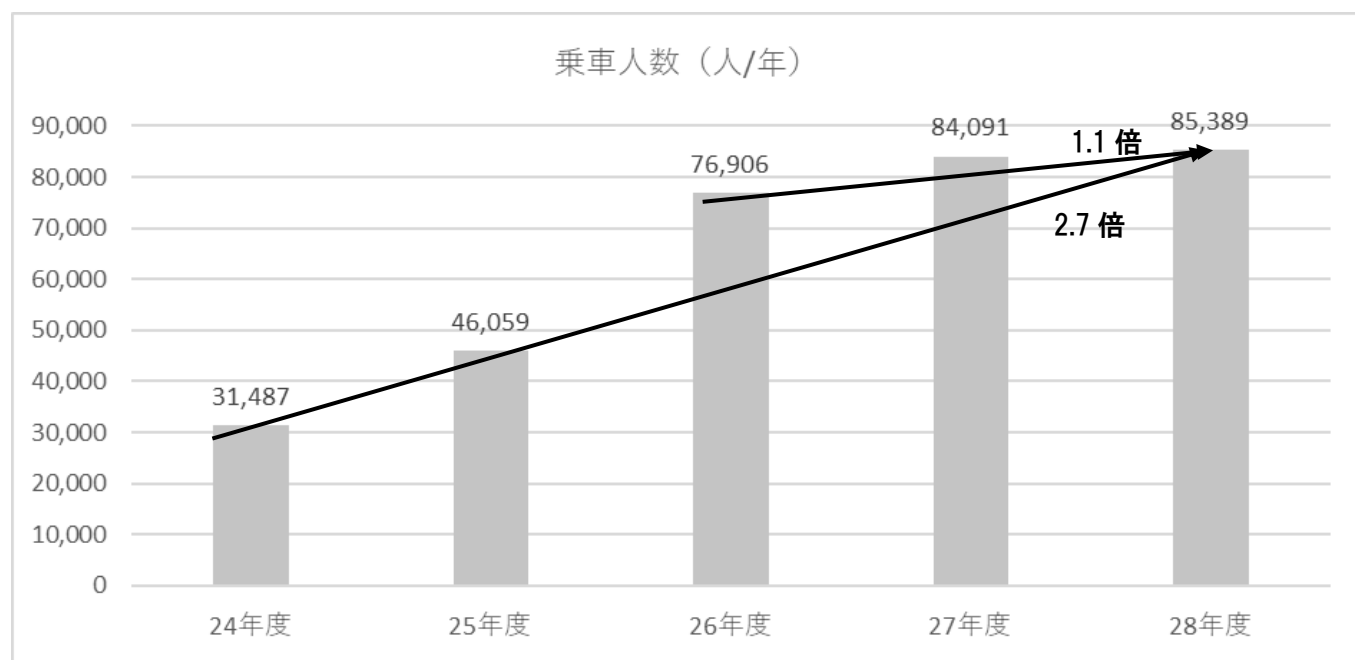


コミュニティバスの利用状況について

コミュニティバスの年間利用者は増加傾向

犬山市コミュニティバスの乗車人数は、平成24年度比較で約2.7倍、現在の再編当初年度（平成26年度）比較で約1.1倍と利用者数は増加傾向にあり、市民の足として着実に定着してきています。

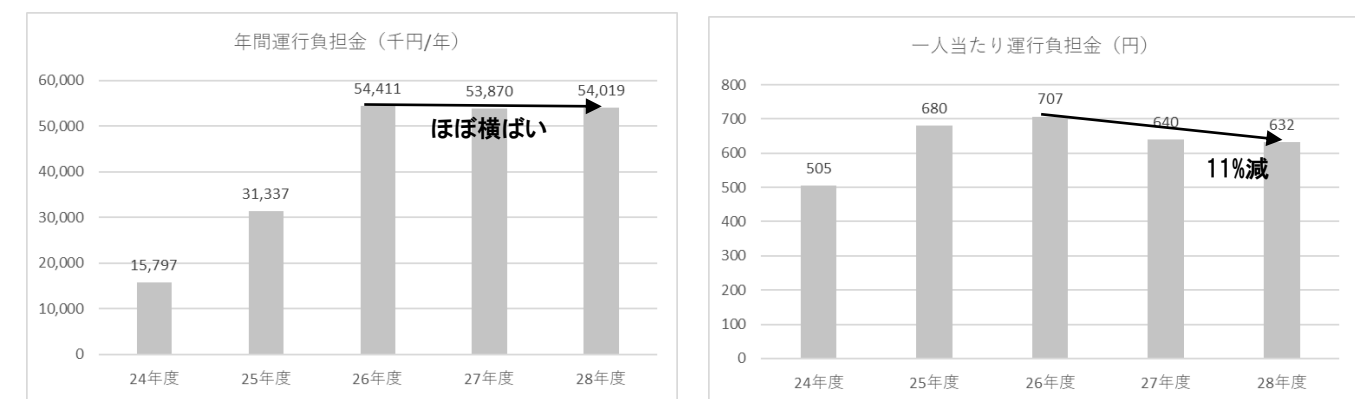


犬山市生活交通確保維持改善計画で掲げている年間利用者目標数85,000人以上を、平成28年度に達成しました。

一人当たりの運行負担金は減少傾向

平成25年11月の路線数の増加に伴い、市の年間運行負担金は、大幅に増加しました。平成26年度以降では、市の年間運行負担金はほぼ横ばいに推移していますが、コミュニティバス利用者数の増加により一人当たりの運行負担金は減少傾向にあります。

平成30年度の再編に向けては、現状と同等程度の負担金を視野に入れながら、交通空白地・交通不便地域の減少、運行日数増加、増便と言った目的を達成出来るよう検討を行ってまいります。



コミュバス 通信

～ 創刊号 ～

発行日 平成29年7月15日
発行者 犬山市地域公共交通会議事務局
連絡先 犬山市市民部地域安全課
Tel 0568-44-0347
Mail

犬山市では、既存の公共交通機関が存在しない地域の住民や自動車を運転できない高齢者等の移動手段を確保するため、平成11年4月より犬山市コミュニティバスを運行しています。路線再編等のサービス改善を繰り返し実施することで市民のニーズに対応してきた結果、年間約85,000人（平成28年度）にご利用いただいています。

一方で、道路が狭隘でバスが走行できない地域の存在、曜日限定の運行、路線の長大化による限られた運行本数等の課題が挙げられています。これら課題を解決し、みんなが利用しやすいコミュニティバスとなるよう、犬山市では、平成30年度のコミュニティバスの再編を目指し、検討を進めています。

この「コミュバス通信」は、平成30年度の再編に向けての経過を市民の皆様にお知らせするため、創刊号として発行し今後も随時発行していきます。

なお、再編に向けての、ご意見やご要望は、電話・Eメール・手紙等々、いつでも地域安全課にて受け付けています。

第1回犬山市地域公共交通会議を開催！

■ 平成30年度再編の方向性を議論

平成29年6月6日に第1回目犬山市地域公共交通会議が開催されました。会議では、平成30年度のコミュニティバスの再編の方向性等について、各委員による協議を行いました。

コミュニティバスの再編の方向性について、委員からは、「バスと鉄道やタクシーとの連携」や「総合犬山中央病院への乗り入れ」等の様々なご意見を頂きました。

【犬山市地域公共交通会議とは？】

犬山市にふさわしい公共交通をつくりあげていくために、関係者みんなで話し合って決める場のこと。

参加委員は、市民代表、交通事業者、運輸局、学識経験者等から構成される。会議では、公共交通の運行や路線再編、利用促進の取り組み等について話し合います。

■ 会議での主な質問や意見

基幹巡回線と4つのエリアを導入する基本的な考え方は？

鉄道との連携を図るべきでは？

バスサービスの提供の基本的な考え方は？

総合犬山中央病院等の乗継拠点についての検討状況は？

タクシーも活用できないか？

■ 事務局の回答・今後の方向性

名鉄犬山線の駅とその周辺施設間の移動のしやすさを向上するため基幹巡回線を検討します。また、効率的な運行による増便を目指し、生活圏を考慮した4つのエリアでの運行を検討します。

名古屋鉄道と調整を図りながら、検討していきます。

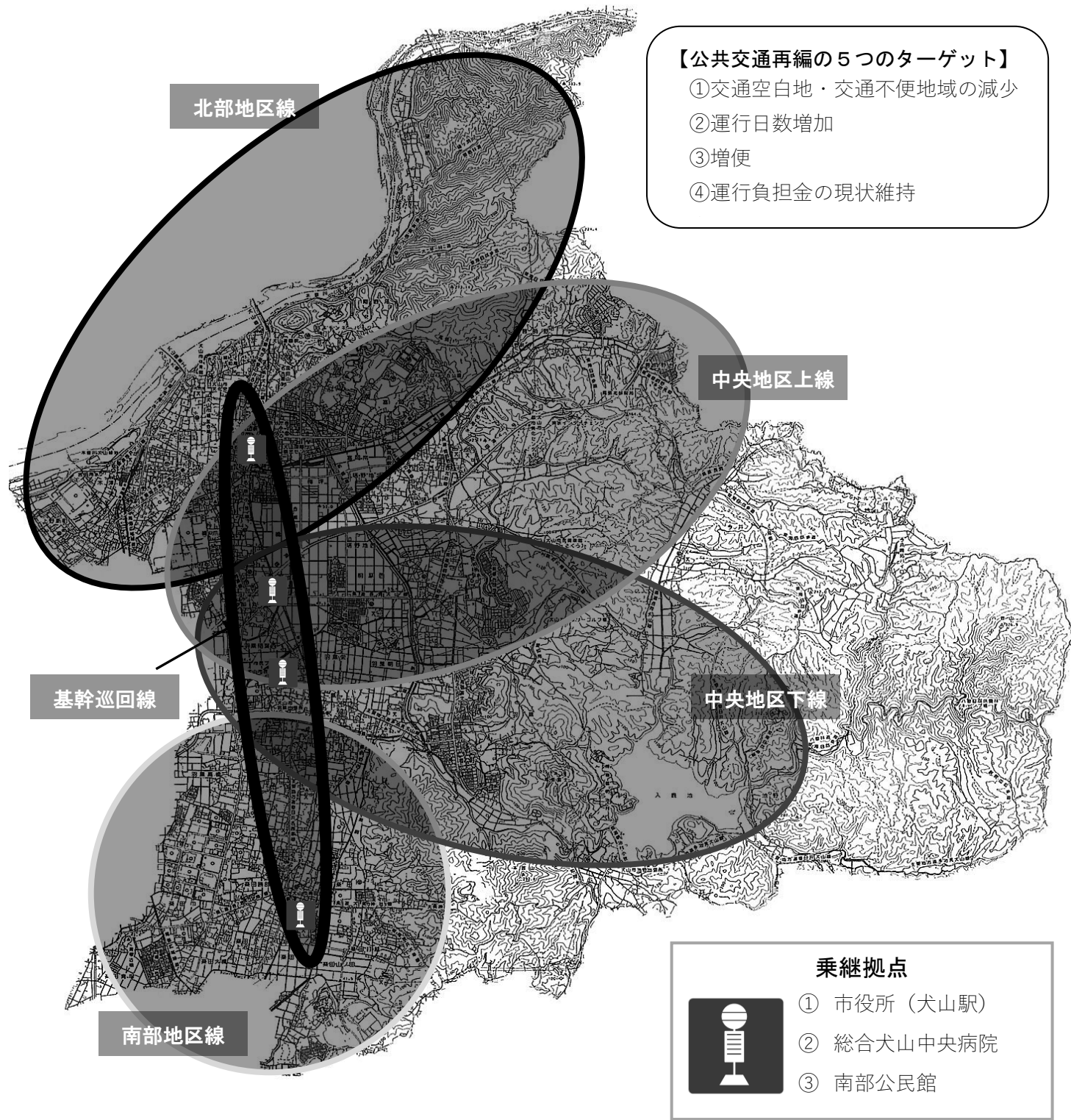
様々な運行方法を検討した結果、効果的かつ効率的な運行を確保するため、従来通り、民間事業者へ運行委託し、安全で安定した移動サービスの提供を図ります。

乗継拠点では、待合環境の整備等により、乗継のしやすさに配慮します。また、総合犬山中央病院への乗り入れも検討しています。

一般タクシーとの役割分担について、検討していきます。また、タクシー券については、担当課との調整を図ります。

平成30年度のコミュニティバスの路線再編(案)について

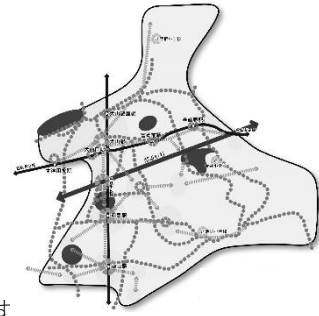
犬山市公共交通再編イメージ(案)



(注) ※現在検討中の内容であり、乗継拠点や路線名は今後変更する場合があります。
 ※エリアの採り方は、現時点でのイメージであり、今後様々な検討を加えます。

犬山市コミュニティバスの課題を整理

- **現存する交通空白地域の解消に向けた対策が課題**
公共交通の徒歩圏域に含まれない居住地が存在します。
- **コミュニティバスの毎日運行を求める意見への対応が課題**
町内会アンケートでは、「毎日運行」を求める意見が多くなっています。
- **拠点間連携を強化するために運行本数の増加が課題**
犬山市がめざすまちづくりの実現に向けた公共交通の運行が必要です。
- **運行負担金の現状維持を求める意見への対応が課題**
町内会アンケートでは、「運行負担金の現状維持」を望む意見が多くなっています。



路線再編により犬山市コミュニティバスの課題解決を図ります!

■ **犬山市公共交通再編の考え方を検討**
 犬山市の公共交通の現状やコミュニティバスの課題を踏まえ、公共交通再編イメージ(左図)に示す通り、犬山駅等の名鉄小牧線の駅と総合犬山中央病院等の主要施設間の移動のしやすさを向上するため、基幹巡回線の導入を検討します。また、犬山市を生活圏に応じた4つのエリアごとの運行とすることで、路線の短縮化による所要時間の短縮や運行本数の増便を図るとともに、エリア内のきめ細かなルート設定により交通空白地の減少を図ります。基幹巡回線と4つのエリアを運行する路線の連携による効率的な運行により、運行負担金を現状程度に維持しつつ、運行日数増加を実現します。

安全で安定した移動サービスの提供に努めます!

■ **バスサービスの提供のあり方を検討**
 今回の路線再編では、バス路線の見直しに合わせ、様々な運行方法について、メリット・デメリットを整理し、どのような運行方法が望ましいか検討を行いました。その結果、各地域から犬山駅、総合犬山中央病院等の拠点への利用が大半を占めるとともに、年間利用者目標数 85,000 人を超える多くの利用者があることから、同じ目的地へ多くの利用者を安全に輸送可能であり、効率的な運行も実現できることから、これまでと同様、民間事業者へ運行委託し、市民等へ安全で安定した移動サービスの提供を図ります。
 なお、今後の人口動向や社会経済情勢、利用実態等の変化が生じた場合には、需要や特性に応じて適切な運行方法(運行形式(バス、タクシー等)、運行回数)の検討を行います。

◇公共交通の再編に向けた今後のスケジュール◇

- 平成 29 年 8 月頃 公共交通再編イメージ(案)について協議
- 平成 29 年 10 月頃 公共交通再編案(ルート及びバス停)について協議
- 平成 29 年 12 月頃 公共交通再編案(運行ダイヤ)について協議
- 平成 30 年 2 月頃 公共交通再編案(ルート、バス停、運行ダイヤ、運行事業者選定等)について協議

↓

平成 30 年度中 犬山市コミュニティバスの路線再編(運行開始)